



2017 (平成 29) 年 6 月 16 日

各 位

会 社 名 生 化 学 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 水 谷 建
(コード番号 4548 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 総 務 部 長 鳥 居 美 香 子
(TEL. 03-5220-8950)

関節機能改善剤 SI-613 の米国における 第Ⅱ相臨床試験開始に関するお知らせ

生化学工業株式会社 (本社：東京都千代田区、以下、生化学工業) は、変形性膝関節症^(*)を適応症とする関節機能改善剤 SI-613 の米国における第Ⅱ相臨床試験を開始しましたので、お知らせします。

SI-613 は、当社独自の薬剤結合技術を用いてヒアルロン酸と非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID) を化学結合したもので、医薬品として開発を進めています。ヒアルロン酸による関節機能改善効果に加え、徐放^(*)されるように設計された NSAID の鎮痛・抗炎症作用を併せ持ち、変形性関節症に見られる強い痛みや炎症を速やかかつ持続的に改善することが期待されます。また、注射剤として関節腔内に直接投与することから、全身血流への移行が少なく、NSAID の経口剤や貼付剤投与と比較して副作用が軽減されるものと考えています。

なお、日本においては、2017 年 2 月より変形性関節症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施しています。

生化学工業は、研究開発基本方針において重点領域としている運動器疾患での製品ラインナップ拡充に向けて日本及び米国における SI-613 の開発を加速させ、健康で心豊かな生活の向上に貢献することを目指していきます。

本件による当社業績への影響は、2017 年 5 月 12 日に開示しました 2018 年 3 月期連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想の変更はありません。

以 上

《ご参考》

(*) 変形性膝関節症

膝関節内の軟骨が摩耗することで、関節組織が変性し炎症や痛みが生じる疾患です。軟骨の擦り減りが進むと、骨と骨が直接接触するため、関節を動かしたときに強い痛みが生じます。発症には加齢、肥満、外傷、過度な運動、遺伝的素因などが関連していると言われています。

(*) 徐放

薬剤の有効成分が徐々に放出されるよう調節し、治療効果を持続させること。

本件に関するお問い合わせは次にお願います。

生化学工業株式会社 総務部 I R・広報担当

TEL. 03-5220-8950

＜注意事項＞

このプレスリリースには、経営戦略、業績見通し等の将来に関する記述を含んでいます。これらの記述は、生化学工業が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の結果等は、様々な要素によりこれらの記述と大きく異なる可能性があります。また、このプレスリリースに含まれている医薬品等 (開発中のものを含む) に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。